

2019年1月15日

会 員 各 位

和歌山県経営者協会
専務理事・事務局長
永 井 慶 一

「景気動向と企業経営」のアンケート調査ご記入の依頼

毎度格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年国内経済は、相次いで発生した自然災害の影響で一時的に停滞したものの、全体として緩やかな回復基調が続き、2012年12月に始まった景気回復局面は戦後最長になろうとしています。

今年は10月に消費税率の10%への引き上げが予定されており、軽減税率や各種の増税対策が国内の景気をどの程度下支えするのかが注目されます。

一方、地方経済は深刻な人手不足に起因する人件費の増加と原油をはじめとする原材料価格上昇への不安が払しょくできず、大都市圏との格差拡大が懸念されます。

新しい年は、政府が目指す「デフレ脱却」と「経済の好循環」が地方経済にも実感できる1年になることを願うところです。

当協会では本年も、会員事業所の皆様方に景気動向や企業経営などについてのご意見をお聞かせいただき、今後の事業運営や関係行政機関などに対する政策提言等の参考にさせていただきたいと考えています。

昨年も100社を超える企業にご協力いただきました。

今回も、ご多忙中とは存じますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

- | | |
|----------|---|
| 1. ご回答期限 | <u>2019年1月28日(月)</u> |
| 2. 送 り 先 | FAX : 073-422-0416
メール : waday@w-keikyo.com
郵 送 : 〒640-8152
和歌山市十番丁19番地 Wajima十番丁3階
和歌山県経営者協会 (担当和田)宛
(TEL 073-431-7376) |
| 3. そ の 他 | アンケートは当会のホームページからダウンロードできます。 |

2019年 会員企業に聞く

『景気動向と企業経営』に関するアンケート調査

和歌山県経営者協会

会社名	
記入者 (役職・氏名)	(電話番号)
業種	1. 製造業 () 2. 非製造業 ()
従業員数	1. 50人未満 2. 50～99人 3. 100～299人 4. 300人以上

該当の設問に対し○印及びご記入をお願いいたします。(基準日:2019年1月15日現在)

【わが国の景気について】

設問-1 現在の国内景気をどのように見えていますか。

- ① 良い ② さほど良くない ③ 悪い

設問-2 設問-1で判断する理由は何ですか。

(3項目以内に○印をお付け下さい。)

- ① 企業収益の動向から ② 設備投資の動向から ③ 個人消費の動向から
 ④ 公共投資の動向から ⑤ 住宅投資の動向から ⑥ 輸出入の動向から
 ⑦ 物価の動向から ⑧ 金利の動向から ⑨ 海外経済の動向から
 ⑩ 雇用の動向から ⑪ その他 ()

設問-3 今年、国内景気はどのような形で推移するとお考えですか。

- ① 拡大する ② 横ばい ③ 後退する

設問-4 景気の先行きに不安があるとすれば、その要因は何ですか。

(3項目以内に○印をお付け下さい。)

- ① 設備投資の削減 ② 消費増税による個人消費の低迷 ③ 公共投資の減少
 ④ 雇用情勢の悪化 ⑤ 株価・地価の下落 ⑥ 政局の不安
 ⑦ 為替の急変動 ⑧ 労働力の不足 ⑨ 米中貿易摩擦
 ⑩ 北朝鮮情勢の緊迫化 ⑪ 原油など原材料価格の高騰 ⑫ 米大統領の政策
 ⑬ 新興国経済の減速 ⑭ 米中など主要国経済の減速
 ⑮ 英国のEU離脱による欧州経済の混乱 ⑯ その他 ()

設問-5 景気回復に必要な政策はどれとお考えですか。

(3項目以内に○印をお付け下さい。)

- | | | |
|-----------------|------------|-----------------|
| ① 個人向け減税 | ② 法人向け減税 | ③ 女性、高齢者の就業促進策 |
| ④ 公共事業費の増額 | ⑤ 規制緩和 | ⑥ 研究開発の促進税制 |
| ⑦ 財政再建 | ⑧ 地方への税源移譲 | ⑨ 政治の安定 |
| ⑩ 為替相場対策 | ⑪ 金融緩和 | ⑫ 外国人労働者の受け入れ拡大 |
| ⑬ 社会保障に対する不安の解消 | ⑭ その他 () | |

【御社の経営について】

設問-6 現在の御社の業績についてお聞かせ下さい。

- ① 良い ② さほど良くない ③ 悪い

設問-7 設問-6で①とお答えの企業にお聞きします。その要因は何ですか。

(2項目以内に○印をお付け下さい。)

- | | | |
|----------|--------------|------------|
| ① 需要の増加 | ② 販売価格の上昇 | ③ 新規市場開拓 |
| ④ 新商品の開発 | ⑤ 合理化・省力化の効果 | ⑥ 資金繰りの円滑化 |
| ⑦ 為替の変動 | ⑧ その他 () | |

設問-8 設問-6で③とお答えの企業にお聞きします。その要因は何ですか。

(2項目以内に○印をお付け下さい。)

- | | | |
|--------------|-----------|----------|
| ① 需要の減少 | ② 販売価格の下落 | ③ 人手不足 |
| ④ 原材料仕入価格の上昇 | ⑤ 為替の変動 | ⑥ 人件費の増大 |
| ⑦ 資金繰りの悪化 | ⑧ その他 () | |

設問-9 今年、御社が最も重要視する課題は次のうちどれですか。

(3項目以内に○印をお付け下さい。)

- | | | |
|---------------|--------------|-----------------|
| ① 事業の再構築 | ② 合理化・省力化 | ③ 新商品の開発 |
| ④ 研究開発の推進 | ⑤ 他企業との提携 | ⑥ 海外への進出 |
| ⑦ 新規市場の開拓 | ⑧ IT化の推進 | ⑨ 設備(生産・営業)への投資 |
| ⑩ 人材の確保・定着 | ⑪ 人材の育成・能力向上 | |
| ⑫ 働き方改革への取り組み | ⑬ その他 () | |

【為替等の状況について】

設問-10 御社の為替相場による影響についてお答えください。

- ① 円高歓迎 ② 円安歓迎 ③ 直接の影響はない

設問-11 昨年の為替相場の平均は1ドル110円程度でしたが、この水準が続いた場合、御社の経営への影響は如何ですか。

- | | |
|---------------|---------------|
| ① 良い影響のほうが大きい | ② 悪い影響のほうが大きい |
| ③ 両者ほぼ同等 | ④ 影響はない |

設問-12 設問-11で①②③とお答えの企業にお聞きします。

具体的な影響は何ですか。(複数回答可)

- ① 需要の増加 ② 需要の減少 ③ 販売価格上昇
④ 販売価格低下 ⑤ 仕入価格上昇 ⑥ 仕入価格低下
⑦ 取引先との価格交渉改善 ⑧ 取引先からの値下げ要請
⑨ その他 ()

設問-13 御社にとって最も適正と思われる円の対ドル相場はいくらですか

- ① ~89円 ② 90~94円 ③ 95~99円 ④ 100~104円
⑤ 105~109円 ⑥ 110~114円 ⑦ 115~119円
⑧ 120~124円 ⑨ 125~129円 ⑩ 130円~

設問-14 御社では業績を予想する際の想定為替レートをいくらに設定(予定)していますか。

(1ドル〇〇円でご記入下さい。)

2019年上期	2019年下期	2020年上期	2020年下期
円	円	円	円

設問-15 御社の海外事業展開についてお聞かせ下さい。(複数回答可)

- ① 一昨年以前に海外に進出している
② 昨年(2018年)に海外へ進出した 国名・都市名 ()
③ 本年(2019年)に海外進出することが決定している 国名・都市名 ()
④ 来年(2020年)以降に海外進出を予定している 国名・都市名 ()
⑤ 海外進出は考えていない

【賃金について】

設問-16 昨年の賃上げの状況についてお答え下さい。

- ① 定期昇給のみ実施 ② ベースアップ実施
③ 賃上げを見送った ④ 賃下げを行なった

設問-17 今年の賃上げの見通しについてお答え下さい。

- ① 定期昇給のみ実施予定 ② ベースアップ実施予定
③ 賃上げを見送る予定 ④ 賃下げを行なう予定

設問-18 設問-17で①②とお答えの企業にお聞きします。

賃上げをする理由についてお答えください。(複数回答可)

- ① 業績改善・向上を反映 ② 従業員の退職防止策 ③ 人材確保(採用)策
④ 他社の賃金動向 ⑤ 社内規定に基づく定期昇給実施 ⑥ 物価上昇への対応
⑦ その他 ()

設問-19 設問-17で①②とお答えの企業にお聞きします。

今年の賃上げ見込額についてお答え下さい。

- ① 昨年を上回る予定 ② 昨年と同水準の予定 ③ 昨を下回る予定

設問-20 昨年(2018年)の賞与の支給(1人当たりの支給額)についてお答え下さい。

- (1) 昨年夏 ① 前年(2017年)より増額した ② 前年とほぼ同額
 ③ 前年(2017年)より減額した ④ 支給しなかった
- (2) 昨年冬 ① 前年(2017年)より増額した ② 前年とほぼ同額
 ③ 前年(2017年)より減額した ④ 支給しなかった

【従業員の状況について】

設問-21 昨年1年間で従業員数はどう変わりましたか。

- (1) 正社員 ① 減少した ② 変わらず ③ 増加した
(2) 非正規社員 ① 減少した ② 変わらず ③ 増加した

設問-22 従業員数の今後(今年)の動向をお聞きします。

- (1) 正社員 ① 減少する ② 変わらず ③ 増加する
(2) 非正規社員 ① 減少する ② 変わらず ③ 増加する

設問-23 現在の従業員の過不足についてお答え下さい。

- (1) 正社員 ① 不足している ② 適正である ③ 過剰である
(2) 非正規社員 ① 不足している ② 適正である ③ 過剰である

設問-24 設問-23で①とお答えの企業にお聞きします。

従業員不足による事業への影響は如何ですか。

- ① 深刻な影響が出ている
② 影響はあるが対処できている
③ 今のところ影響はない

設問-25 設問-24で①②とお答えの企業にお聞きします。

人手不足によりどのような影響が出ていますか。(複数回答可)

- ① 従業員の負担が増加している ② 賃上げにより人件費が増加している
③ 需要増への対応が困難になっている ④ 事業拡大が困難になっている
⑤ 事業維持が困難になっている ⑥ その他()

設問-26 人手不足を緩和するため講じている措置はどれですか。(複数回答可)

- ① 採用対象の拡大 ② 募集時の賃金引上げ
③ 非正規社員の正社員化 ④ 派遣など外部人材の活用
⑤ 従業員の多能工化・兼任化上げ ⑥ 社内の人員配置の見直し
⑦ 業務行程の見直し ⑧ 業務の外注化
⑨ 事業の一部縮小 ⑩ その他()

【新卒採用の状況について】

設問-27 今春の新規学卒者の採用についてお答え下さい。

- ① 採用する ② 採用しない

設問-28 設問-27 で① とお答えの企業にお聞きします。

(1) 今春の新規学卒採用者数は昨年と比べてどうですか。

- ① 増加した ② 昨年並み ③ 減少した

(2) 新規学卒採用計画に対する内定状況についてお答え下さい。

- ① ほぼ計画通り採用できた ② 計画に対しやや少ない ③ 計画に対し大幅に少ない

設問-29 来春の新規学卒者の採用についてお答え下さい。

- ① 採用する予定 ② 採用しない予定 ③ 未定

設問-30 設問-29 で① ③ とお答えの企業にお聞きします。

現時点で来春の新規学卒者の採用計画を立てるとすれば。

- ① 増加計画を立てる ② 今年並みの計画 ③ 減少計画を立てる

【外国人採用の状況について】

設問-31 外国人の採用についてお聞きします。

- ① 現在採用している ② 過去に採用したことがある
③ 今後採用を検討している ④ 今後も採用しない

設問-32 設問-31 で① ② ③ とお答えの企業にお聞きします。

採用した(採用を検討している)外国人の内訳は次のどれですか。(複数回答可)

- ① 外国人留学生 ② 外国人労働者 ③ 外国人技能実習生

設問-33 設問-31 で① ② ③ とお答えの企業にお聞きします。

採用の理由は次のどれですか。(複数回答可)

- ① (国籍にかかわらず)優秀な人材を確保するため ② 業務上外国語の使用が必要なため
③ 海外事業展開に必要なため ④ 人手不足に対応するため
⑤ 社内の意識改革、活性化のため ⑥ ダイバーシティ強化のため
⑦ その他 ()

※ご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが1月28日(月)までにご返送いただきますようお願いいたします。